

J A福井県 波乱の船出!

3人体制の代表理事、嶺北が独占



富田 勇一
J A 福井県
代表理事組合長



寺井敏高筆頭代表理事
副組合長



牧野正男代表理事
副組合長

福井県内の10 J Aが合併し、4月1日に「J A福井県」がスタートして、わずか2カ月半で田波俊明組合長が経済事業の在り方を巡り、過半数の理事と対立し辞任。7月20日、無投票で新組合長に富田勇一氏が就任、副組合長に寺井敏高氏と牧野正男氏が就いた。

10 J Aの合併は船出から船頭同士のいざこざが勃発。波乱の船出に困惑したのは組合員だ。これを肝に銘じ、新体制の「J A福井県」は組合員のための組合づくりにスピード感をもって取り組まなければならぬ。

富田組合長は県農協中央会からJ A花咲ふくい勤務を経て、同組合長を3期務めた。

4月1日からJ A福井県副組合長、7月5日同組合長に就任した。

富田組合長は県五連副会長、初代花咲ふくい組合長を務められた小林豊氏がJ A花咲ふくいに県中央会より参事として迎え、西昇二代目組合長にも常務として任せ、J A一筋。交渉事や会話は否定から入るタイプで、やや小賢しく取っ付き難い感がある。

寺井副組合長はわずか2年前にJ A福井市の組合長に就任したばかり。J A福井市は歴代組合長には阪下、竹下、五連会長も務めた山田俊臣氏と続き、長谷川忠夫組合長が退き、激戦の末に寺井氏が組合長の座を射止めた。おまわりさん退職の経歴で農協経営や運営には全くの素人。すでに71歳と高齢の寺井氏が、J A福井県筆頭理事副組合長に何故か抜擢された。

合併した10 J A中、信用、共済、経済事業ともにトップ

の J A 福井市の組合長という理由だろうが、71歳の富田組合長の片腕としてやっていくのか不安も残る。

再選挙は目先の安定を選択したが、それは「問題の先送り」と同義である。1年後の組合員の評価を検証したい。

組合長と副組合長3人体制が、嶺北独占は如何なものか。田波組合長が辞退したからこそ、嶺北と嶺南の融和の為に、若狭支店の宮田幸一専務理事や敦賀美方支店の山本義典専務理事の副組合長登用が妥当ではなかったか。

令和2年4月から1年間の J A 福井県年間事業計画によると、事業総利益約159億5400万円、事業管理費155億7200万円。事業利益3億8200万円、令和4年度には事業利益6億5400万円を目指すところ、絵に描いた餅にならぬよう組合員の所得向上に全役員が一丸となって頑張るしかない。

預金高 8114 億円、出資金 174 億円の船出！

J A 福井県合併直前の主な資産内訳 R2年3月31日現在(単位：千円)

	貯 金	共済資金	信用事業資産	出 資 金
福 井 市	182,270,867	1,867,293	179,963,933	3,796,080
花咲ふくい	141,840,207	1,327,576	143,031,169	3,018,389
た ん な ん	104,457,182	900,357	105,375,639	2,775,615
若 狭	88,551,832	657,168	87,173,570	1,520,518
テラル越前	83,798,079	623,977	81,694,511	2,617,560
敦賀美方	80,255,892	443,967	80,376,897	1,163,889
越前丹生	56,170,530	447,691	57,020,380	1,024,610
は る え	31,773,131	198,818	31,926,511	583,227
福井市南部	23,992,622	132,618	24,006,211	544,495
永 平 寺	18,332,578	142,553	18,032,362	377,479
合 計	811,442,920	6,742,018	808,601,183	17,421,862